

(別紙)

審査基準

No	審査項目	評価内容	評価得点
1	利用者の利便性	・取扱ブランドは、インバウンドを含む利用者の利便性が向上するブランドであるか。	15
		・紛失・盗難カードの不正使用に対する防止対策及び補償制度は十分であるか。	
2	取扱手数料	・低廉な手数料であるか。	15
		・取扱ブランド等により手数料に極端なばらつきがないか。	
3	決済端末	・導入費用は低廉であるか。	25
		・キャッシュレス決済に必要な機能等が一体化できているか。	
		・職員等にとって取り扱いやすい機器であるか。	
		・決済の取り消し、集計業務等の事務が滞りなく行えるものであるか。	
4	取扱手数料以外の経費	・どのような経費がかかるか。	25
		・保守メンテナンスにかかる負担が小さいか。	
		・導入後のランニングコストが低廉であるか。	
		・消耗品に係る経費が低廉であるか。	
5	情報セキュリティ等	・情報セキュリティ及び個人情報保護に対する取組が確立されているか。	10
		・コンプライアンス体制が確立されているか。	
6	納付事務	・納付事務は迅速に行われるか。	10
		・納付に関する情報等について、提供が迅速でかつ情報の内容は十分であるか。	
7	サポート体制等	・導入まで効率的で無理のないスケジュールとなっているか。	20
		・導入前の研修や対応マニュアルは適切であるか。	
		・導入後のサポート体制は十分であるか。	
8	業務実績	・十分な実績を有しているか。	10
9	提案者の優位性、特筆できる提案	・他の施設に導入する際の展開について、有意な提案があるか。	20
		・他の提案より優位性が認められるか。	
		・独自の取組が示されるか。	
合計			150